

【潮湯の里夕陽館に対するご意見】

説明会でいただいたご意見は、大きく次の3点が挙げられます。

- ①集いの場・憩いの場の維持
- ②温浴機能の維持
- ③財源を他事業へ使うべき

民営化するに当たり、①~③以外で施設に希望する機能や条件などご意見をお聞かせください。

【ご自由に記入してください】

郵送する場合
お手数ですが
63円切手を
貼ってください

POST CARD

811-3304
福津市津屋崎一丁目7番2号
津屋崎行政センター 行

【津屋崎行政センターに対するご意見】

●年齢

1. 30代未満	2. 30代~40代
3. 50代~60代	4. 70代以上

●住んでいる地域

- 宮司・宮司元町・星ヶ丘・宮司ヶ丘・宮司浜
- 勝浦・奴山
- 津屋崎・在自・須多田・大石・生家・渡
- その他の地域

※氏名・住所などの記入は不要

「潮湯の里夕陽館」に対する
意見の提出方法

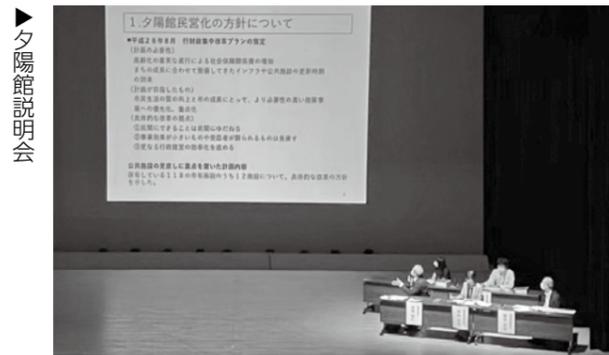
左の「潮湯の里夕陽館に対するご意見」のはがきを切り取り、ご意見を記入の上、63円切手を貼って郵送、または市役所ロビー、行政センター窓口に設置の回収箱に投函してください。
市公式ホームページ、または右のQRコードからも提出できます。



提出期限 9月22日(木)必着
今後のスケジュール
10月下旬(予定) 求められている機能の実現性などを民間事業者に対して調査
11月 譲渡条件などの整理
問い合わせ 市地域振興課観光振興係
☎ 62・5014 FAX 43・9003
メール kanko@city.fukutsu.lg.jp

問 修繕や更新の必要がある設備が多く存在します。今後、持続的に運営していくためには、これらの費用も必要です。
答 「観光施設」ではなく「温浴機能のある「福祉施設」として残してほしい。これまで存続していきたいと努力してきましたが、現段階では「福祉施設」に限定しない民間活力を導入する方針です。
意見 財源が厳しいことを市民にはつきりと伝え、ほかの必要な事業に財源を使うべき。

説明会を受けて今後の取り組み
説明会では、夕陽館がどれほど市民の皆さんに愛されている施設であるかを、強く再認識しました。しかし、市の財政状況では夕陽館をこれまのでように維持していくことができません。
そのため、市民の皆さんが夕陽館にどのような機能を求めているか意見を募り、その実現性の調査を行い、早期に民営化できるように取り組んでいきます。



「潮湯の里夕陽館」の今後の活用方法に
関する意見を募集します

現在休館中の潮湯の里夕陽館について、これまでの経緯と今後の活用に向けた方針の説明会を、5月28日カメリアホールで行い、多くの質問や意見をいただきました。今回、説明の概要をお知らせし、説明会に参加できなかった市民の皆さんからも今後の活用方法に関する意見を募集します。

問い合わせ 市地域振興課観光振興係 ☎62・5014

「潮湯の里夕陽館」(以下、夕陽館)は、平成13年に開館。旧津屋崎町、旧福岡町合併後は、福津市福祉会館として多くの人に利用されてきました。しかし「海水を使用する温浴施設のため施設の維持管理費が高額になること」「今後の市の全体の社会保障費が増加すること」「これまで整備してきた道路や橋梁などインフラなどの更新時期が到来すること」を見据え、平成28年策定の行財政集中改革プランで、民営化が適当とされました。その後、原崎市長の判断のもと、夕陽館を存続させるため指定管理料の削減や入館料の値上げ、無料送迎バス廃止と

いう見直しを行いました。しかし、令和元年に策定した中期財政見直しでは、多くの公共施設の老朽化に伴う維持補修費や高齢化のさらなる進展、児童生徒の増加に伴う小・中学校の学習環境整備費などの増加によって、令和2年度から令和6年度までの財源不足が77億円に上るという結果でした。
この財源を創出するために、基金の活用や財政の健全化、そして集中改革プランの推進に取り組むことが急務となり、現状を見直すことで何とか存続の道を探っていた夕陽館について、民営化をすすめていくこととしました。

民営化に向けた公募の実施と公募結果
昨年、民営化に向けて公募を実施しましたが、応募者がなく、現在夕陽館は休館しています。応募がなかった要因を検証した結果を踏まえ、民営化に向けた方針を左記のとおり見直しました。

- 活用を観光に資する施設へ明確化
- 有償譲渡だけでなく、民間事業者からの提案や資金調達を受ける方法も視野に入れて再検討

夕陽館に関する説明会の開催
説明会には166人の参加があり、そこで出された主な質問や意見と、それに対する市の回答は次のとおりです。
問 カラオケなどもあり、集いの場所となつている。なんとか存続してほしい。
答 施設の維持経費は大きく、市による運営で存続することは難しい状況です。また、夕陽館は建設後20年以上を経過しているため、

夕陽館を直営で運営した場合の年間運営費の試算(令和2年度基準)

収入	1,300万円
支出	4,330万円
支出内訳	
人件費	1,000万円
光熱水費	1,930万円
設備点検・清掃費など	800万円
修繕費	600万円

